

大学院共通科目 21世紀と宗教

複雑な国際情勢、テロなどの暴力、消費社会、環境問題等と対峙せねばならない現代社会において、それを解く鍵ともなる宗教について正しい知識と理解を得ることは重要です。宗教による対立や政治への介入は紀元前の昔から続いてきた人類の課題とも言えます。その歴史や背景を正しく知り、現在のグローバルな社会において正しく対応するための知識と理解を深めるための授業です。

7月9日(金)

2-3 南北アメリカの現代社会と宗教(木村武史)

4-6 カルト宗教は何が問題なのか(櫻井義秀)

7月10日(土)

2-3 現代社会と宗教ーチベットとネパール(吉水千鶴子)

4-6 イスラームの教義と社会(高尾賢一郎)

7月9日(金)、10日(土)

2~6限目 (10:10-18:00)

オンライン授業

Zoomを利用します。リンクはmanaba
で周知します。詳しくはmanabaを確
認してください

問合せ先: 大学院共通科目事務室
E-mail : ggec@un.tsukuba.ac.jp

7月9日 4-6 カルト宗教は何が問題なのか
(櫻井義秀[北海道大学])

「カルト問題」とは、特定の宗教団体が社会的相当性を欠く勧誘・教化や献金によってその人の身体・精神・財産を搾取することを問題視した評価概念である。この講義では、カルト問題が社会的に構築されてきた時代背景や社会状況を概観し、複数のカルト視された教団と事件を考察する。カルトで問題とされてきた精神的呪縛ーマインド・コントロール、正体を隠した勧誘活動の実態を見ながら、私たちは何ができるのか、考えてみたい。

7月10日 4-6 イスラームの教義と社会
(高尾賢一郎[中東調査会])

この授業では、イスラームの基礎知識や世界観を学び、この上で現代世界におけるイスラームをめぐる問題について考える。4限では、以上について欠かせないイスラームの成り立ちについて学ぶ。5限ではイスラームはどのような教えを特徴とし、これによってどのような世界観を築いてきたのか。また、これらをどのように継承してきたのかについて学ぶ。この上で、6限では今日のイスラーム世界がどのような問題に直面しているか、またこれらを読み解く上で何を理解する必要があるかについて学ぶ。